



特別で最高な修学旅行

学校行事の中でも、とりわけ心に残る思い出になる修学旅行。1月14日に愛知県に発出された緊急事態宣言に伴って、これまでとは違う特別な修学旅行となりました。愛知県内での修学旅行。近場での旅行は移動が少ないので、感染リスクが減ることはもとより、自分たちの住む地域の知らなかった魅力を発見できるなどのメリットがあります。そうはいうものの、突然の変更に、本当に思い出に残る旅行になるのか不安もありました。

そんな心配を吹き飛ばす最高に充実した二日間になりました。明治村は自然いっぱいの広大なテーマパークで、どの班も地図を見ながら駆け回りました。初めて訪れた子どもも多く、重要文化財などの歴史的建造物の前で思い思いに写真を撮っていました。

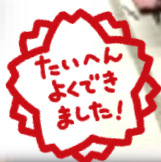
宿泊したホテルは、さくら小学校と2校だけの貸し切りで、1部屋あたりの宿泊人数を減らしていただいたこともあり快適でした。お風呂も普段なら学年一斉に入浴できる広さがありましたが、学級ごとの入浴で余裕のあるお風呂タイムでした。



食事会場は、なんと300畳の大宴会場。でもお膳はすべて前向きに並べられて、前から見ると一番後ろの子は、すごく遠くに見えました。こんな広い会場で、みんなで顔を見合わせながら食べれたら、もっと楽しかったのにね…。そんな日が早く来ることを祈りつつ「いただきます」。



食事の前には、アルコール消毒。
これはもう当たり前の生活習慣になりました。



子どもたちが泊まった部屋は、和室や洋室、人数もいろいろでした。修学旅行といえば部屋で友達と遊んだり話し込んだりするのが楽しみです。各部屋から笑い声が聞こえる中、くつとスリッパをきちんとそろえて過ごす6年生に成長を感じました。

集合時刻には、いつも5分前集合ができた6年生でした。時間前にあわてて集まるのではなく余裕を持って行動できました。「ジェットコースターに乗っていたら遅刻する班もあるかも…」と心配する私をあざ笑うかのように、ばっちり集合完了。「この子たちは本当に信頼できる6年生だ」と再認識しました。



天気的神様ありがとう…

二日目はラグーナテンボスに行きました。平日の午前中だったので、一般客は少なく、さくら小学校と2校で貸し切り状態でした。天気予報では雨天の予想だったのですが、子どもたちが遊園地にいる間は奇跡的に雨が降りませんでした。コロナ禍で我慢を強いられてきた乙川小とさくら小の子へ、神様がごほうびをくださったのかもしれないね。



こんなアトラクションに…

乗り放題でした



修学旅行の様子(写真)を学校ホームページに、できるだけリアルタイムでアップしました。普段は200程度のアクセス数が、修学旅行の2日間は合計で約1,500アクセスがありました。この数字を見て、保護者の皆様も、期待とともに心配されて修学旅行を見守ってくださっていたとご推察しました。お陰様で無事行ってきました。本当にありがとうございました。

おっかわいいね ♥ 明治時代を体験したよの巻

